

【②検査用】

MST-8R J2534ソフトインストールガイド

重要：ご使用前に必ずお読みください
この度はMST-8Rをご購入いただき誠にありがとうございます。

1. はじめに

初めてご使用になる場合は、同梱の「【整備用】MST-8R クイックスタートガイド」に記載されている以下の手順を先に実施してください。

2. パソコンとの接続とファイルの表示
3. ユーザー登録
4. アップデートおよび取扱説明書のダウンロード

・上記を先に実施しないとこの後の手順が正常に完了できません。

2. BANZAI J2534 (Do IP)のインストール

アップデートが正常に完了すると、本体内にインストーラーが生成されます。

1. 本体とパソコンのUSBポートを接続し、パソコンから「MST-8R」→「support」→「cgi」→「win-app」→「j2534-util」フォルダの順に開きます。

2. 「j2534-util」フォルダ内の「setup.exe」を実行します。

・ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

3. インストーラーが起動します。[次へ]をクリックします。



4. インストール先を確認するダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。

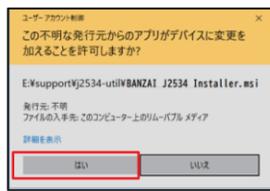


・インストール先を変更する場合は[参照]をクリックして保存先を指定してください。

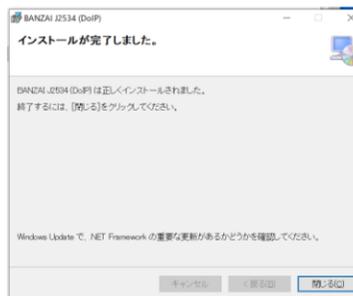
5. [次へ]をクリックしてインストールを開始します。



・右記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックして許可してください。



6. インストールが完了しました。[閉じる]をクリックして終了します。



7. インストールが完了するとデスクトップに「BANZAI J2534 DoIP VCI設定」のショートカットが生成されます。



8. 有線接続の場合は「3-A」、無線接続の場合は「3-B」へお進みください。

3-A. 【有線】車両と本体およびパソコンの接続

※無線接続で検査を行う場合は「3-B. 【無線】車両と本体およびパソコンの接続」に進んでください

1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。



2. 付属の USB Type C ケーブルを使用して本体の USB Type C ポートとOBD検査で使用するパソコンのUSBポートを接続します。

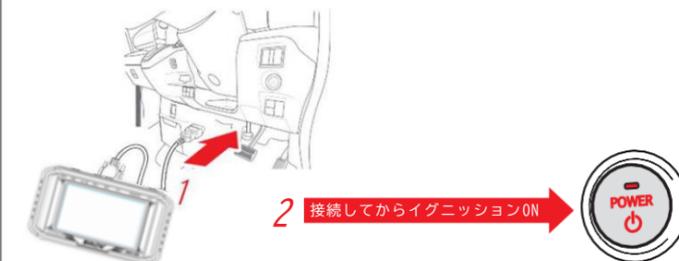


・USB Type C ケーブルは必ず先に本体に接続した後、パソコンに接続してください。順番を間違えると認識しない場合があります。

・パソコンとの接続は、必ず付属のUSB Type C ケーブルケーブルをご使用ください。
・初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップが自動で始まります。「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されてセットアップが終了するまでお待ちください。

3-B. 【無線】車両と本体およびパソコンの接続

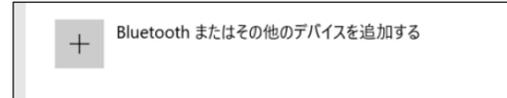
1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。



2. パソコンの、Windowsマーク を選択し、[設定] → [デバイス] → [Bluetoothとその他のデバイス]の順に選択します。



3. [Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する]を選択します。



4. [Bluetooth]を選択します。



5. [MST-8R 08-XXXXX(Xは接続する本体のシリアル)]を選択します。

・本体のシリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。
例) S/N : 08-200100



※該当のMST-8Rが表示されない場合は、本体と車両が正しく接続されているかを確認してください。

6. “デバイスの準備が整いました！”と表示されたら[完了]を選択します。



7. [その他のデバイス]に“MST-8R 08-XXXXX(Xは接続する本体のシリアル)”があることを確認し、画面を閉じます。

その他のデバイス



※「3-B. 【無線】車両と本体およびパソコンの接続」を複数回行ってもデバイスが表示されない場合は「4. 本体をJ2534モードへ切替」へお進みください。

4. 本体をJ2534モードへ切替

1. MST-8Rが起動してメインメニューが表示されます。メインメニューから「特殊機能」を選択します。

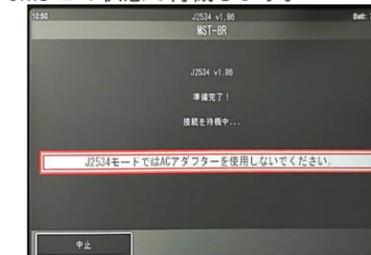


2. 続いて「J2534 モード」を選択します。



3. 「J2534」ソフトが起動します。

4. しばらくすると「準備完了」画面が表示されます。MST-8Rはこの状態で待機します。

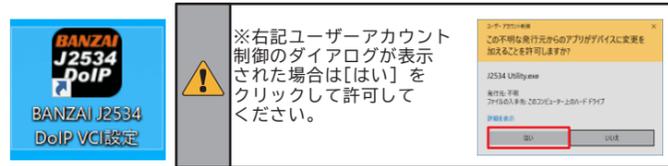


・J2534モードで（検査用スキャンツールとして）使用する場合は、ACアダプターを使用しないでください。正しく検査ができない可能性があります。

※次ページへ続く

5. BANZAI J2534 (Do IP)で本体をパソコンに登録

1. デスクトップの「BANZAI J2534 DoIP VCI設定」を起動します。



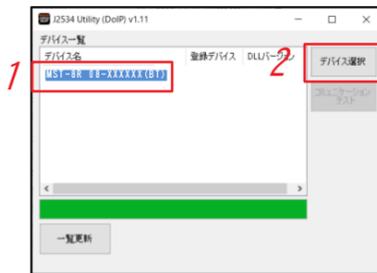
2. 接続されている本体（デバイス）の検索が開始されます。



3. 接続した本体がデバイス一覧に表示されます。

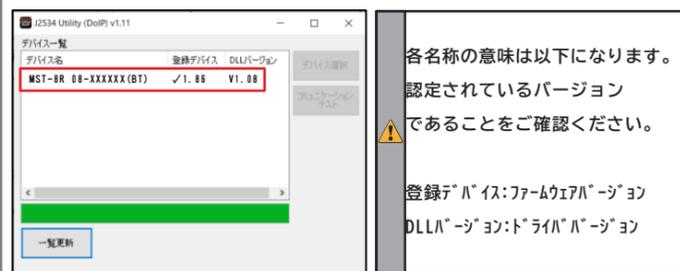


4. 接続した本体のシリアル番号とデバイス一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択し [デバイス選択] をクリックします。

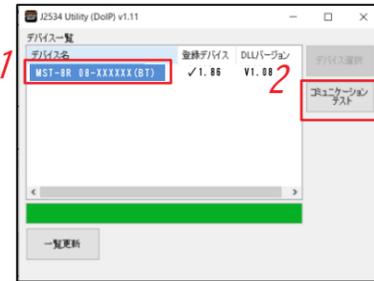


※本体とパソコンの接続方法によって以下のどちらかを選択してください。
 有線で接続した場合： MST-8R 08-XXXXXX (USB)
 無線で接続した場合： MST-8R 08-XXXXXX (BT)

5. 「登録デバイス」 「DLL バージョン」 欄にバージョンが表示され、接続された本体がデバイスとして登録されます。



6. 続いてコミュニケーションテストを実施します。
 デバイス名をクリックして選択し [コミュニケーションテスト] をクリックします。



7. コミュニケーションテストが完了すると「正常に完了しました」ダイアログが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログを閉じ、「J2534 Utility(DoIP)」を[x] をクリックして終了します。
 以上でセットアップは完了です。



8. 『特定 DTC 照会アプリ』を起動して、OBD 検査を行なってください。

- ・特定 DTC 照会アプリについては「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。
- ・セットアップが完了したデバイス名（「MST-8R_シリアル番号(USBまたはBT)」）が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。
- ・1 台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリストから現在接続されているデバイスを選択してください。

【特定DTC照会アプリの動作環境】

アプリは Windows がインストールされたPCまたはタブレットにインストールして使います。

Windows がインストールされたPC またはタブレットは、以下の動作環境を満たす必要があります。

- ・ CPU 1GHz 以上
- ・ メモリ 2GB 以上
- ・ ディスク C ドライブ空き容量 1 GB 以上
- ・ OS Microsoft Windows 10 または 11 以上
- ・ ソフトウェア
 .NET Framework 4.6.2 以上
 Microsoft Visual C++再頒布可能パッケージ(2017以上) 32bit
- ・ ネットワーク通信
 有線または無線でインターネット接続が可能であること
 ※詳細は「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。

【初回起動後は以下の操作を行ってください。】

- ・ 3-A. 【有線】車両と本体およびパソコンの接続
- ・ 3-B. 【無線】車両と本体およびパソコンの接続
- ・ 4. 本体をJ2534モードへ切替
- ・ 5. BANZAI J2534 (Do IP)で本体をパソコンに登録

【MST-8Rの対応通信プロトコル】

- ・ ISO14229
- ・ ISO14230
- ・ SAEJ1979
- ・ ISO13400
- ・ ISO15765
- ・ ISO15031-5
- ・ ISO9141

MEMO